
眠り丘

嘩月 - ka「d/z」uki -

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

眠り丘

【Nコード】

N7828I

【作者名】

嘩月 - k a 「 d / z 」 u k i -

【あらすじ】

- - - - -

雨が降り敷きる
風が吹きすさぶ
足が止まった時
私は私を壊して……

涙垂れ落ちる
喉が枯れ果てる
悲しみに潰され
止まってしまいそう

後ろ振り返り 笑っていた……

独りで呟いて 霞むアナタを抱きしめた
唾を吐き鉄の味 蝕み始める

不幸にもアナタを 奪った悪魔が笑う
今度は私の事を 壊し潰すの

白い無機質の部屋 抜け出し願った
アナタ眠る丘で 空に祈った

雨が降り敷きる

風が吹きすさぶ
足が止まった時
私は私を壊して……

涙垂れ落ちる
喉が枯れ果てる
悲しみに潰され
止まってしまいそう

後ろ振り返り 笑っていた……

もうこれほどに 誰彼を愛せやしない
まだアナタだけを いつまでも愛してる
けれどアナタは 私を愛してくれた？
アナタ アナタだけを 愛していくの
蝕まれても 朽ち果てても

愛し続ける

後を追うのが恐かった あれほど一緒だと喚き泣いたのに
臆病な私には 悪魔の囁きが美しく聞こえて

「あの葉が散る時……」
なんて言わないで 今すぐアナタの傍に寄り添いたい

闇が舞い降りる
風が止まり渴く
音が静かに消ゆ
私は枯れ朽ちて向かう

誰も見ていない
私笑ってるの
醜い冷めた顔で
微笑んでいれるよ……

此処でアナタと眠る

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7828i/>

眠り丘

2010年12月31日23時20分発行